

～令和3年12月 データから見た業界の動き～

12月報告のポイント

2022年景況は「横ばい」に期待?! 物価上昇、賃金水準低下、消費行動限定的を予測

■ 概 況

12月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で売上高+8ポイント（前年同月比+56）、収益状況▲12ポイント（前年同月比+32）、景況感▲8ポイント（前年同月比+40）となった。

令和3年3月以降毎月、売上・収益・景況感すべての項目が前年同月より回復してきたが、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大、世界的レベルでの原材料不足、原油価格高騰の影響による経費の増加など、経済の先行きに不安材料が多い。

業種別では、製造業は売上高+10（前年同月比+70）、収益状況▲15（前年同月比+45）、景況感▲10（前年同月比+55）となった。食料品製造では、宿泊施設や飲食店向けの業務用商品や年末年始の需要の高まりから売り上げが増加した。また、半導体製造装置の需要が高まり金属製品製造業では前年対比60%の売上増が報告され、電気機械部品加工、業務用機械器具製造業からも10%～20%昨年度対比で売上増加となった。ただ、原材料調達に苦慮する報告が多く、銅線や鉄板、合板等が不足、この他原材料価格の値上げ分を製品価格に転嫁できず、収益の悪化を訴える声も増加している。

非製造業では、売上高+7（前年同月比+47）、収益状況▲10（前年同月比+23）、景況感▲7（前年同月比+30）となった。ジュエリー卸売は、前年対比20%の売上増、商店街も活気が戻り55%の売上回復との報告がされた。

しかし、青果、電気製品小売業では売上は伸びなかった様子が伺え、ホテル・旅館においても宴会や会食は未だに控えられており、景気回復感を感じている業種は一部となった。建設業関係からは公共工事件数は減少（▲11%昨対）しているが請負金額は60%増との報告がされた。原材料の高騰、賃金の上昇が増加の要因だが、経費上昇分の転嫁がしきれず、経営の危機を感じている事業者（型枠工事、鉄構）もある。貨物運送業でも、荷動きは良いものの燃料の高騰分の運賃の値上げが進まないとの報告がされた。

今回、各業界の2022年の景況予測について追加調査したところ、「横ばい」との回答が48%と最も多く、「下降」24%、「上昇」10%となった。12月は新型コロナウイルス新規感染者ゼロの日が続き、消費者の行動が活発になっていたことから期待を込めて「横ばい」とされた。しかし本音では、決定的なウイルス対策が見いだせていないことから不安は払拭できず、物価は上昇、賃金水準は上がらないので消費は限定的とされ、景気の悪化も懸念されるとの見方も多かった。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>ギフト関連商品の売り上げはやや低迷しているが、新型コロナウイルスの感染者数が一時収まったことから宿泊施設や飲食店向けの業務用商品及びおせち関連商品の売り上げが伸び、全体の売り上げが前年同月比107%で感染症拡大前の水準に戻った。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>一部の組合員の店舗拡大効果の継続やクリスマスケーキの売り上げの増加により、売り上げが前年同月比122%となった。一方、原材料費及び燃料が高騰し先行きを懸念している。</p>
<p>食料品 (パン・菓子製造業)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染者数が減少したことで消費者の行動が活発になり、売り上げは前年同月と比べ6%程増加した。しかし、変異株の感染者数が増加傾向にあり、今後の経済の動向に不安を抱えている。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>消費者に動きが見え始めた頃に新型コロナの変異株が拡大し始めたため、売り上げの回復には至らなかった。12月7日(火)、8日(水)に開催された展示会・商談会の「プレミアム テキスタイル ジャパン2022 Autumn/Winter」の効果による今後の受注増加を期待している。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>ウッドショックによる材料不足は落ち着きつつあり、ピーク時に比べ価格が下落傾向にある一方、今度は合板の不足が発生している。</p>
<p>印刷・同関連業</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により売り上げが落ち込んでいることに加え、原油高による資材の高騰が経営状況の悪化に拍車をかけている。</p>
<p>窯業・土石 (山砕石)</p>	<p>骨材の出荷量は減少したが河川工事用の割栗石の出荷量が前月比250%と増加し、全体の売り上げが4%程増加した。しかし前年同月と比較すると▲12%となり、厳しい状況は続いている。 リニア新幹線関連工事の進捗状況が芳しくなく、発注が遅れている。安定供給に向けては在庫数量確保をしなければならないが、他の需要先と需要量を的確に把握した生産調整を行っている。</p>
<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>前年同月と比べ売り上げは60%程増加した。半導体製造装置関連は前年同月と比較して売り上げが増加、自動車関連は横ばいとなり全体的に回復傾向にあるが、様々な部品が不足し、特に銅線部品は調達が難しい状況にある。</p>

<p>一般機器 (業務用機械器具製造業)</p>	<p>受注は回復傾向にあり前年同月と比べ売上げは10%程増加したが、材料価格の高騰や入手が困難なことに加え部品も不足しているため、減産となることを懸念している。今後も厳しい状況が続くと考えている。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げが6%程増加した。取引先の手持ち在庫が減少し、新たな受注が発生したことが理由だと考えている。仕事量はある程度確保できていることから、今後の動向は徐々に回復してくると予想している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体製品の入荷が遅延し、半完成品が在庫として増加している。また、それら製品の納期が明確でないため正確な見積もりが結果的に赤字になる受注もあり、経営状況は悪化している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体製造、工作機械製造、ロボット製造関係などの受注量が増加し、売上げが前年同月比120%となったが、前年の売上げが大きく落ち込んでいたことが理由だと考えている。全体的な売上げは回復傾向にあるが、材料等の値上がりを価格に転嫁できずにいるため先行きに不安を抱えている。</p>

● 非製造業

<p>卸売 (自動車中古部品)</p>	<p>中古車部品の買取価格は高値での推移を維持しているが、廃車の発生が少なく前年同月と比べ売上げは▲10%となった。しかし、自動車の半導体不足が解消しつつあることから、廃車の発生が増える2～3月に期待している。</p>
<p>卸売 (ジュエリー)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染者数減少により人流が回復し、売上げが前年同月と比べ20%程増加した。</p>
<p>小売 (青果)</p>	<p>好天が続く大根や白菜、キャベツなどの葉物野菜は安値で取引されたが、玉ねぎやジャガイモは高値となり収益を圧迫した。正月に向けて消費者に動きはあったものの売上げの増加には繋がらず、前年同月と比べ▲6%となった。</p>
<p>小売 (食肉)</p>	<p>年末の行楽地の売上げは好調に推移したが、忘年会など会社関係の飲食が少ないため飲食店の売上げが伸び悩んでいる。</p>

<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>前年の同月はコロナ需要により売り上げが増加していたことから、前年同月の売り上げと比べ▲10%となった。地域店にとっては合同展示会などの開催が需要の掘り起こしに不可欠だが、2年ほどイベントが開催できていないことから今後の販売見通しのマイナス要因になることを懸念している。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いていたため、売り上げが前年同月と比べ55%程増加した。年末にかけて国内のオミクロン株感染者が増えつつあり、先行きに不安が募る。</p>
<p>宿 泊 業</p>	<p>宿泊者数は増加傾向にありコロナ感染拡大前の宿泊数とほぼ同数の組合員の施設も多くあるが、宴会や大人数での会食は増えないため宴会場を持つ施設は未だ低迷している。</p>
<p>美 容 業</p>	<p>前年同月と比較すると売り上げが増加している組合員もいるが、全体的には横ばいで今後回復する見通しもなく期待できない。</p>
<p>産業廃棄物処理</p>	<p>新型コロナウイルスの影響が落ち着き、通常の作業状況にある。</p>
<p>一般廃棄物処理</p>	<p>寒波によりパッカー車（機械式のゴミ収集車）の故障が増えたが、新車の納期が見通せず、納車までの車両の整備費が増加し収益を圧迫。やむを得ず中古車を購入する組合員が目立った。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>天候に恵まれ工事現場の中止はほとんどなく、また、感染症拡大防止のための行動規制が緩和されたことから年末商戦に伴う駐車場等の警備業務が増加した。更に、延期となっていたイベントが開催されるなど、組合員はフル稼働で業務に当たった。前年同月と比べ売り上げ、収益ともに増加したが、警備員の労働時間や労働日数も増加したことから、今後は受注量を抑制し勤務時間の調整をせざるを得なくなっている。</p>
<p>建 設 業 (総 合)</p>	<p>公共工事では前年同月と比べ件数は▲11%であったが、請負金額では60%増加している。12月末累計でも件数は▲2.2%となっているが、請負金額では12%の増加となっている。</p>

<p>建設業 (型 枠)</p>	<p>この1年間建材価格の高騰が続き、現在もなお価格上昇の勢いが止まらない。しかし請負価格は横ばいであることに加え、職人不足から賃金が上昇し、仕事はあっても経営状況は危機的状況にある。</p>
<p>建設業 (鉄 構)</p>	<p>鋼材の値上げ価格が受注価格に反映できず、鋼材の加工費率を圧縮せざるを得ない工場がある。</p>
<p>設備工事 (電気工事)</p>	<p>前月に引き続き、電気工事材料の不足や納期が不透明な部材があり、工事が遅延している現場がある。</p>
<p>設備工事 (管設備)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染者数が減少し従来の活動に戻りつつあるが、新たな変異株の流行や原材料価格の高騰、海外生産される商材の物流の停滞などが今後の経済活動に暗い影を落としている。</p>
<p>運 輸 (バ ス)</p>	<p>観光客が戻らず今後の見通しも立たない。収益状況が悪化し、厳しい経営状況が続いている。</p>
<p>運 輸 (トラック)</p>	<p>例年に比べ早い時期から荷量が多く動いた。仕事はあるが相変わらず原油高が続いていることから収益が悪化している。様々なものが値上がりしているため、原油高騰分の運賃の値上げ交渉がうまく進まない。</p>
<p>その他 (介護)</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により施設から在宅への介護サービスに移行した新規利用者の満足度が上昇したことに加え、利用者の高齢化による利用回数の増加から、前年同月と比べ売り上げが14%増加した。</p>

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2020/12	2021/11	2021/12	2020/12	2021/11	2021/12	2020/12	2021/11	2021/12
売 上 高	-60	15	10	-40	23	7	-48	20	8
収 益 状 況	-60	-15	-15	-33	3	-10	-44	-4	-12
景 況 感	-65	-10	-10	-37	-3	-7	-48	-6	-8

※((良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数) ×100) =D. I値

